

令和3年度事業報告

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

令和3年度は、全国的に「緊急事態宣言」や「まん延防止等重点措置」が発出され、出口が見えない状況が続いて参りました。

これらの状況から、当協会の会員数の減少により会費の減少が見込まれることから、令和2年度に引き続き、支出の抑制に努めて参りました。

さらに、函館市より利用料金制度により受託している「函館市旧イギリス領事館」においても、入館者の減少が続くことから、売店を喫茶ルームに移設し、週末のみの営業にするなど大幅な支出の削減に努めて参りました。

一方で、当協会として、会員企業の皆様の安全を守るとともに、観光客の皆様が安心して当地を選んでいただけるよう、函館市医師会の協力のもとワクチンの職域接種にも取組んで来たところです。

さらに、令和3年度は、念願であった当地の「垣ノ島遺跡」と「大船遺跡」が「北海道・北東北の縄文遺跡群」として世界遺産に登録されたことから、動画やアニメーションを製作し、各種SNSを活用し幅広い年齢層に周知とPRを図って参りました。

さらに青森地区と連携により「道南・青森縄文ドキドキスタンプラリー」を開催し、誘客とプロモーションに取組んで参りました。

その他、函館外での誘客プロモーションが難しい情勢でしたので、年間を通して各種SNSを活用し、キャンペーンを行うとともに、タイムリーな情報発信に取組んで参りました。

また、新たな取組として「卒業旅行」の誘致への準備を進めたところですが、年明け以降、「まん延防止等重点措置」が発出されたことから、本格的なプロモーションが未完成のまま終了いたしました。

一方で、当初感染が低い状況にあった当地としては、4月から8月また、緊急事態宣言が全面解除された秋以降に、北は北海道から南は佐賀県まで全国から500校を超える小中高校より、約4万人を超える教育旅行の来訪がありましたので、今後においても継続して当地を選定頂けるようプロモーションが必要と受け止めております。

また、イベントにつきましては、当協会が事務局を担っております「函館港まつり」につきましては、密対策が図れないことから、令和2年に引き続き中止を決定いたしました。

令和3年度も、函館市内におけるイベントのほとんどが中止となり、地域経済が非常に厳しい状況が続いていることから、その回復の一助とすべく、感染対策を講じた上で「はこだてクリスマスファンタジー」は開催いたしました。

さらに、函館市と共に「はこだて冬フェスティバル」の一環として、「函館冬花火」や元町公園にて光の演出による「光のガーデン」の準備を進めて参りましたが、北海道において「まん延防止等重点措置」が発出されたことから、残念ながら実施出来ず終了したところでございます。

令和3年度も大変厳しく長い1年間となりましたが、函館観光を支えて頂いている会員の皆様に改めまして感謝申し上げます。